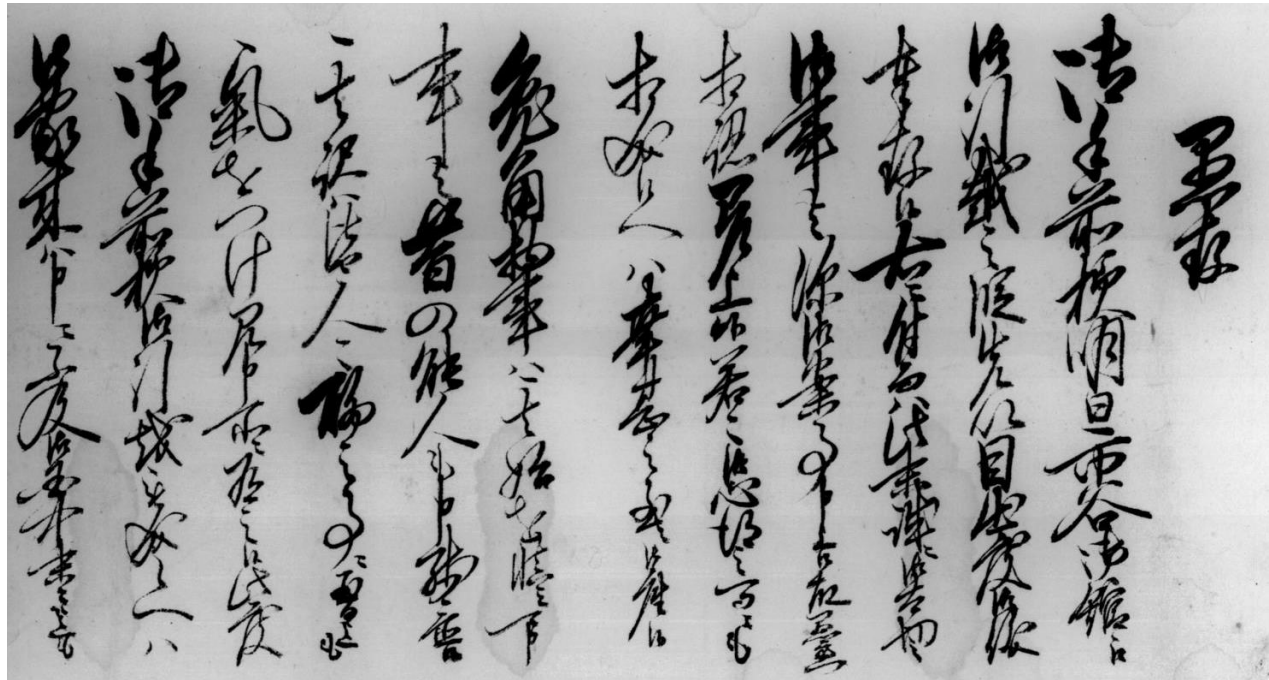


# 松平慶永（春嶽） 18 歳の手紙



1845 年（弘化 2）07 月 14 日「愚存（松平慶永書状写）」

吉野屋文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)



**翻刻文**  
愚存  
御手前様明日市谷御館江  
御引越之段、先以目出度修儀  
奉存候、右江付而八此末誠ニ御太刀之  
御事与深御案事申上候故、愚慮  
相認差上候、若々御心得之一ツニも  
相成候へハ幸甚之至ニ御座候、  
兎角物事ハ其始を慎ミ可申  
事与昔の能人も申残置候、  
其訳ハ皆人々聊之事ニ至而迄も  
気をつけ見申聊ニ有之候、此度  
御手前様御引越被成候へハ  
（後略）

**現代語訳**  
愚存  
あなた様は明日市ヶ谷にある尾張藩の屋敷へ引越すとのこと、まずはめでたきことと存じ申し上げます。そのことについて、私は本当に深く心配し申し上げますので、私の考えをしたためて差し上げます。一つか二つだけでも心得ていただけますならば、幸甚の至りにございます。  
とにかく、物事はその始まりを慎むべきだと昔の偉人も言い残しています。その理由は、人々は皆わずかな事に至るまで気を付けて見ているからです。この度、あなた様が引越しなされば、家来は申すに及ばず、國中末々までも  
（後略）

## 解説

19 世紀前半、諸藩では財政難を立て直すため、特産物の専売制を強化したり、家柄にとられずに有能な藩士を登用したりして、藩政改革が行われました。  
薩摩藩・長州藩・佐賀藩など、改革に成功して、西洋式の軍備を整えるところも出てきました。これらの藩は雄藩とよばれ、幕末の政局に強い発言力を持ちました。

## 福井とのかかわり

福井藩も幕末の政局に大きな影響を与えた雄藩の 1 つです。徳川御三卿の 1 つ田安家に生まれた松平慶永（春嶽）は、11 歳で福井藩主となりました。慶永が藩主となったとき藩の借財は 90 万両をこえ、当時の藩の直轄領からの 1 年間の収入がおよそ 4 万両余りであったことと比較すると、その額がいかに大きなものであったかがわかります。

こうした状況を克服するために慶永は、まず節約の徹底をはかり、「清債方」を設けるなどして借財の返済にあたりました。またアヘン戦争で清国がイギリスに屈伏した情報を得て、洋式砲術である高島流砲術を導入するなど、兵備・軍備の改革を行い、さらに洋書習学所を設けて洋学の導入にも力を入れました。

1853 年（嘉永 6）のペリー来航に際し、当初慶永は強硬な鎖国攘夷論をと見え、軍備の増強を主張しました。しかし、アメリカ総領事ハリスが通商条約の締結を幕府に迫った 1857 年（安政 4）には、相談役である橋本左内の影響もあって開国論へと転じ、幕府の政治にも積極的にかかわるようになりました。

## 資料の注目ポイント

1845 年（弘化 2）、当時 18 歳だった松平慶永（春嶽）が、当時 10 歳だった弟の鑑丸に送った手紙の写しです。幼くして養子に出て尾張藩主になる鑑丸に対し、慶永は、「物事は始めを慎むこと」「養父母を実家の父母と同様に大切にすること」「家臣から気に入らないことを言われてもとがめ立てしないこと」「領民には慈しみの心をもって接すること」など、藩主としての心得を説いています。弟が置かれた状況をわかった上で、きめ細かい心配りをしていることがわかります。

中根雪江の『奉答紀事』によれば、手紙の写しは尾張國中へ流布していたそうです。この手紙は慶永の非凡な政治観を表した名文として知れ渡り、全国の政治の舞台に踊りでるきっかけになったといえるでしょう。

関連資料、展示等

| 名称                             | 概要                             | 備考   |
|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 「愚存（松平慶永書状写）」                  | 吉野屋文書（当館蔵）<br>資料番号 B0030-00458 | デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p1">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p1</a> (画像 1 枚目)<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p2">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p2</a> (画像 2 枚目)<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p3">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p3</a> (画像 3 枚目)<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p4">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p4</a> (画像 4 枚目)<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p5">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-338348-1-p5</a> (画像 5 枚目) |
| 福井県文書館月替展示<br>「時代をうつす 10 人の手紙」 | 「愚存（松平慶永書状写）」を展示。              | 当館 WEB で公開中。<br><a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/m-exhbt/20160708AM/20160708.html">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/m-exhbt/20160708AM/20160708.html</a>  |

参考文献等

- 『江戸雄藩殿様たちの履歴書』（八幡和郎 2009年 日本文芸社）  
 『奉答紀事』（中根雪江 1980年 東京大学出版会）  
 『幕末維新論集 4 幕末の変動と諸藩』（田中彰ほか 2001年 吉川弘文館）  
 『幕末雄藩列伝』（伊東潤 2017年 KADOKAWA）  
 『福井県史 通史編 4 近世 2』（福井県 1996年）  
 『福井市史 通史編 2 近世』（福井市 2008年）

- 越前松平家家譜 慶永 1 福井県文書館資料叢書 4 <http://www.archives.pref.fukui.jp/fukui/08/2009bulletin/lindex4.html> (2018年7月24日閲覧)  
 越前松平家家譜 慶永 2 福井県文書館資料叢書 5 <http://www.archives.pref.fukui.jp/fukui/08/2009bulletin/lindex5.html> (2018年7月24日閲覧)  
 越前松平家家譜 慶永 3 福井県文書館資料叢書 6 <http://www.archives.pref.fukui.jp/fukui/08/2010bulletin/lindex6.html> (2018年7月24日閲覧)  
 越前松平家家譜 慶永 4 福井県文書館資料叢書 7 <http://www.archives.pref.fukui.jp/fukui/08/2010bulletin/lindex7.html> (2018年7月24日閲覧)  
 越前松平家家譜 慶永 5 福井県文書館資料叢書 8 <http://www.archives.pref.fukui.jp/fukui/08/2010bulletin/lindex8.html> (2018年7月24日閲覧)